

各 位

会 社 名 株式会社ジアース

代表 者名 代表取締役社長 池添吉則

(コード番号:8922 東証マザーズ)

問 合 せ 先 取締役経営戦略本部長 奥田 広志

電 話 番 号 06 - 4391 - 2001(代表)

連結業績予想の公表について

平成22年5月14日付「平成22年3月期決算短信」にて未公表となっておりました平成23年3月期の業績予想について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成23年3月期連結業績予想(平成22年4月1日から平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	1	1	-	-
	百万円	百万円	百万円	百万円
今回発表予想(通期)	6 9 0	1,100	1,210	2 4 0
今回発表(上期実績)	183	7 4 4	8 3 2	157
今回発表(下期予想)	5 0 7	3 5 6	3 7 8	8 3

2. 連結業績予想に関する定性的情報

当社は米国サブプライムローン問題以降、「事業の選択と集中」という経営重点施策に邁進し、その結実として、社名をジアースとし、本年5月14日『ジアース 版』をリリース、また、この11月中旬には本格的に新生『ジアース』のサービスを開始いたします。

ジアースは不動産情報の非対称性を限りなく縮減し、誰もが幸せになる不動産マーケットを創ることをビジョンとし、ユーザーの皆さまの利便性を追求するだけでなく、当社が培ってきた豊富な不動産データベースの提供をとおして、ユーザーの皆さまの安心できる物件選びに寄与し、また、不動産会社の皆さまに対しまして

も、インターネットを通じたユーザーとの多様なマッチングの機会を提供したく、不動産会社が物件情報を無料で登録・掲載できる、新しいビジネスモデルである、不動産情報提供サービスを開始いたしました。

そういった経緯の中、世界最大の検索エンジンであるGoogleが日本でGoogleの不動産検索サービスを展開するにあたり、Googleの不動産検索のコンテンツパートナー企業として、数あるプロバイダの中から当社を選んでI頂きました。当社が創業以来、培ってきた不動産業務の知見・ノウハウ、また当社の独創的な不動産ソリューションテクノロジーが、世界に認められた光栄な瞬間であり、同時にその社会的な役割を自負いたしました。

コンテンツライセンス契約締結後も、当社は物件掲載の獲得に努め、現時点で物件掲載数150万戸、登録不動産会社数5,000社、登録不動産店舗数6,800店舗と、Googleのサービス開始以降3ヶ月となりますが、順調に推移いたしております。

今期の業績予想に関しまして、Googleの不動産検索とのデータ連携による当社の広告収益予測があまりにも未知数であったため、未公表としておりました。しかしながら業界認知・ユーザー認知に要する時間軸、また、Googleの不動産検索のサービス開始の時期等、それらを複合的に効果測定した結果、現時点における今期の業績予想に至りました。

また、11 月 1 日にはリクルートが運営する日本を代表する不動産情報サイト『SUUMO』とのデータ連携の基本合意の締結により、当社がすでにサービスを開始している賃貸物件情報に加え、売買物件・新築分譲物件情報の提供を開始することが可能となり、広告収入等の収益の獲得を図る足固めを確立できたと考えております。

この連携合意により、当社のビジネスモデルが社会性に富んだコンテンツ(ソーシャルコンテンツ)であると、より強く認識しました。

今上期におきましては、物件無料掲載システムによる参加者の拡大に努めたものの、広告事業も稼動当初のため、主にその他の事業による183百万円の売上高のみとなりました。また、Googleとの連携に伴うシステム開発費用等により、744百万円の営業損失となり、さらに、固定資産売却益858百万円を特別利益に計上しましたが、投資有価証券評価損100百万円もあり、当期純損失157百万円となりました。

今下期におきましては、ジアースの有料広告の販売と、ビジネス事業におけるデータベースの販売の拡大に努め、507 百万円の売上高を見込むものの、システム維持費用の吸収までにはまだ至らず、356 百万円の営業損失となる見込みです。

これらを踏まえ、本年度は十二分に経営・事業基盤を固め、当第 4 四半期には営業キャッシュフローの黒字転換を必達とし、来期の上半期には損益面での黒字化を目指して事業に取り組んでいく所存です。

なお、平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年3月期本決算短信公表日までに開示いた します。

(注)上記予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因により、予想と異なる場合があります。